

# 横浜国立大学 学術情報リポジトリ

平成20年度事業報告

平成21年7月9-10日 平成20年度CSI委託事業報告交流会（コンテンツ系）

## 環境情報研究院発、特色あるコンテンツ 植生調査報告書を電子化



平成20年度 年間ダウンロードランキング			平成20年4月～平成21年3月
回数	種類	論文名	
5,870	博士論文	A-B型両親媒性共重合体の極性溶媒中における自己組織体形成	
5,312	博士論文	神奈川県庁本庁舎と大正・昭和初期の神奈川県営繕技術者に関する建築史的研究	
4,981	博士論文	高密度半導体の実装関連材料の信頼性に関する研究	
3,720	博士論文	港湾域における有機スズ化合物の環境動態に関する研究	
3,510	紀要論文	アンネ社の生理革命：「不浄」から「当たり前」へ	
3,497	博士論文	年金運営と企業価値	
3,437	博士論文	揚水発電所運営に伴う技術的問題点と付加価値向上技術に関する研究	
2,627	博士論文	曲げ変形制御型制震構造の構造原理及び実用化に関する研究	
2,389	博士論文	Study on ionization methods for thermally labile organic peroxides	
2,193	博士論文	Suppression of several anomalous phenomena in turbomachinery by use of J-Groove	
2,115	宮脇コレクション	Vegetation und Landschaft Japans : Festschrift für Prof. Dr. Drs. h. c. Reinhold Tüxen zum 80. Geburtstag am 21. Mai 1979	
1,941	博士論文	Hydrogen gas sensors utilizing a high proton affinity of pyrrolopyrrole derivatives	
1,346	博士論文	Preparation, characterization, and reaction mechanism for UV and visible light-driven photocatalysts	
1,338	博士論文	非イオン界面活性剤の疎油性の効果とその応用に関する研究	
1,165	博士論文	プラスチックボトルの最適設計に関する研究	
1,105	紀要論文	3次元CADの普及と製品開発プロセスに及ぼす影響	
1,044	宮脇コレクション	産業立地における環境保全林創造の生態学的、植生学的研究	
973	宮脇コレクション	長野県の潜在自然植生図：第1集	
944	紀要論文	小売企業の環境マーケティング：イオン(株)・ワタミ(株)の事例研究	
930	その他	横浜国立大学附属図書館沿革誌	

国内外で植生調査を行ってきた宮脇昭名誉教授らによる植生調査報告書を、すでにリポジトリで公開されている57冊に加えて、平成20年度は80件を電子化した。宮脇昭名誉教授は、地球環境問題の解決に向けて貢献した個人や団体に送られる旭硝子財団のブループラネット賞を2006年に受賞した植物生態学者である。

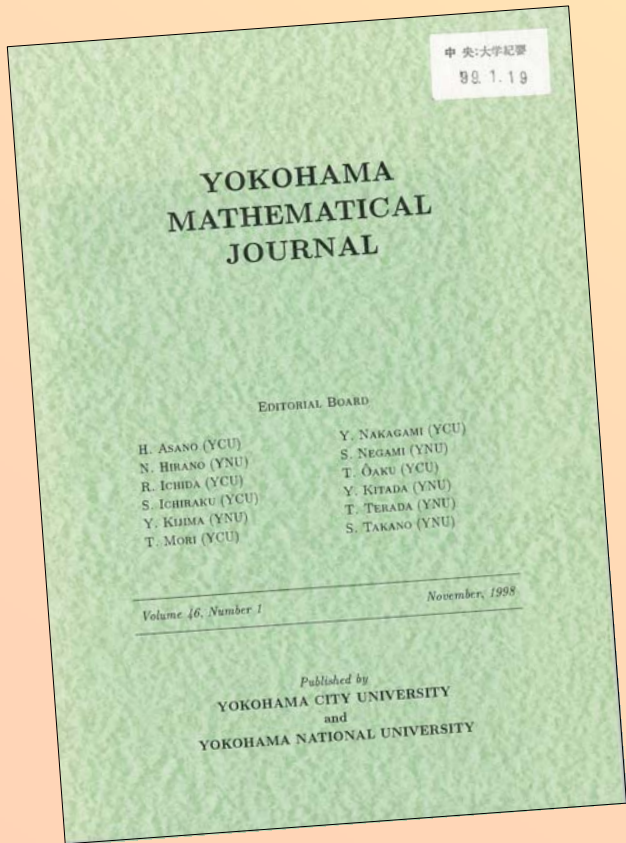
電子化に際しては、宮脇先生の研究室を引き継いでいる複数の教員から資料の提供を受けた。それらの資料は地方自治体から刊行されているものが多く、なかには図書館に未所蔵のものや、NACSIS-CATに登録されていない希少本もあった。これら「宮脇コレクション」には、付録として折込図表や大判の植生図が豊富に含まれているのが特徴である。

平成20年度の年間ダウンロードランキング（上記の表）では、宮脇コレクションから3冊が上位20入りした。



# 横国大と横浜市大の共同出版数学誌

## 創刊号からYNU-Rに登録決定



英文数学誌「Yokohama Mathematical Journal」(以下、YMJ)は、1953年に横浜市立大学紀要として創刊され、1993年から横浜国立大学と横浜市立大学の共同出版物となり、現在は54巻まで出版されている。平成20年度、同誌は国立情報学研究所の国際学術情報流通整備事業「SPARC Japan」の一環として、創刊号から全ての巻が電子化されることになった。これを横国大リポジトリで公開したいとの要望がYMJ編集委員会と横浜市立大学学長から寄せられ、横国大学術情報リポジトリ運営委員会での検討の結果、創刊号から横国大リポジトリで公開することが決定した。学内紀要以外の雑誌をジャーナル単位でリポジトリに収録するのはこれが初めてとなる。

### 図書館だより



リポジトリに論文を登録しましょう!  
近頃「探していたあの論文がインターネットで読めた」ということが増えていませんか?電子ジャーナルが便利なのはもちろんですが、もしかしたら、急速に普及しつつあるリポジトリも役立っているかもしれません。  
大学などの学術機関が、研究成果などをインターネットで公開するのがリポジトリです。「横浜国立大学学術情報リポジトリ」では、本学に所属する研究者による学術雑誌論文や、博士論文、研究紀要論文、そして本学の特色ある資料などを発信しています。  
学術雑誌に投稿した論文をリポジトリに登録する場合は、論文を電子メールまたは学内便で図書館企画係までお送りください。著作権の状況によってはリポジトリでの論文公開が制約される場合がありますので、図書館にて調査いたします。例えば、エルゼビア社やシュプリンガー社が出版する論文は、抜刷は使えませんが、査読後の著者最終原稿をリポジトリに載せることができます。一方、IEEEや日本機械学会のように、抜刷をスキャンしてリポジトリに載せることを認めている出版元もあります。そのあと図書館から「登録承諾書」の用紙をお送りしますので、ご署名の上ご返送ください。論文をPDF形式に変換してセキュリティ設定を加えたり、書誌情報と併せてアップロードしたりする作業は図書館にて行います。  
お問い合わせはお気軽に図書館企画係(内線3204)まで。

↑ YNU News, No. 242・243, 2008.11

平成20年度も学内教職員向け広報誌「YNU News」でリポジトリの広報を実施した。総務部広報係の印刷物なので経費は0円。

# 学内広報誌でアピール

## リーフレットを全教員に配布

学術雑誌論文と博士論文を募るためのリーフレットを作成した。これをリポジトリ運営委員会で披露したところ、委員の教員から好評で、教授会に持ち帰って配りたいとの申出があった。  
11月に全教員のポストに配布したほか、ホームカミングデーでも卒業生向けに配布。併せて、学務窓口で博士課程の院生に配布してもらっている博士論文の登録承諾書にもリポジトリクリアフォルダとともに添えている。  
その後、教員や博士課程の大学院生から論文の提供が増加する傾向があり、コンテンツ登録推進に大きな効果が得られている。



図書館でもリーフレットを配布

### 「片手間にやるリポジトリ」

専任の係が無くても、大学が小規模でも大丈夫。  
本学リポジトリ担当職員がDRF-Ookayamaにおいて標記の演題で講師を務め、図書館業界に熱心な?仕事ぶりをアピールした。





